

2014年度短期集中春季英語セミナー

(スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」)

1. 短期集中夏季英語セミナーの概要

国際コミュニケーションセンター（SOLAC）では、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の一環として、平成27年2月10日から3月27日まで、短期集中夏季英語セミナーを開催した。実施したセミナーは「Academic Writing 短期集中セミナー」「TOEFL® 短期集中セミナー」「Academic Speaking 短期集中セミナー」である。

各セミナーの目的は、以下の通りである。

Academic Writing 短期集中セミナー	論文やレポートを書く為の練習の場としてのセミナー
TOEFL® 短期集中セミナー	留学の際に必要となる TOEFL® のスコアアップを目指すセミナー
Academic Speaking 短期集中セミナー	ディスカッションをする為の練習の場としてのセミナー

又、本セミナーの対象・クラスサイズ・使用言語は、以下の通りである。

対象者	神戸大学の学部学生・大学院生
クラスサイズ	原則として、1クラスにつき5名～10名の少人数制
使用言語	英語

2. セミナーの実施内容

開講された各セミナーの名称・講師・日程は、以下の通りである。

2.1 TOEFL® 短期集中セミナー

<セミナー名> TOEFL® Intensive Course

<講師> David Kolf

<日程> 2月10日(火), 12日(木), 17日(火), 19日(木) 2, 3限 (計8コマ)

2.2 Academic Writing 短期集中セミナー

<セミナー名> English Writing Intensive Course

<講師> David Kolf

<日程> 2月16日(月), 18日(水), 20日(金), 23日(金) 2, 3限 (計8コマ)

2.3 Academic Speaking 短期集中セミナー

- (1) <セミナー名> English Speaking Intensive Course
<講師> Ellen Rettig-Miki
<日程①> 3月25日(水)～27日(金) 1, 2限 (計6コマ)
- (2) <セミナー名> English Speaking for Intermediate Learners
<講師> Ellen Rettig-Miki
<日程②> 3月25日(水)～27日(金) 3, 4限 (計6コマ)

3. 実施実績

のべ応募者数の約3分の1が、短期あるいは長期海外滞在経験者であり、約半数の人が近い将来、長期留学を希望していた。すでに学内で実施される交換留学の予定を控えた学生が、のべ応募者数の約2割であった。

TOEFL®セミナーは、全セクションに対する対策、学習方法や有益なウェブサイトが紹介された。又、Integrated taskとして学習することで、4技能(writing, reading, listening, speaking)のスキルを高める練習をした。

Academic Writingセミナーでは、アイデアのまとめ方、様々な文章スタイルを適切な表現方法と共に学習することで、エッセイを書く為の基本スキルを学習した。

Academic Speakingセミナーでは、主にペアワーク、小グループワークでDiscussionを練習、又ショートプレゼンテーションを練習することで、スピーキングスキルを学習した。

各セミナーの応募者数は、以下の通りである。

セミナー／コース名	講 師	応募者数
【TOEFL®短期集中セミナー】		
TOEFL® Intensive Course	David Kolf	9
【Academic Writing 短期集中セミナー】		
English Writing Intensive Course	David Kolf	7
【Academic Speaking 短期集中セミナー】		
English Speaking 日程①	Ellen Rettig-Miki	9
English Speaking 日程②	Ellen Rettig-Miki	5
計		30

以下に学部・学年別応募者の内訳を示す。

応募者述べ総数 30名

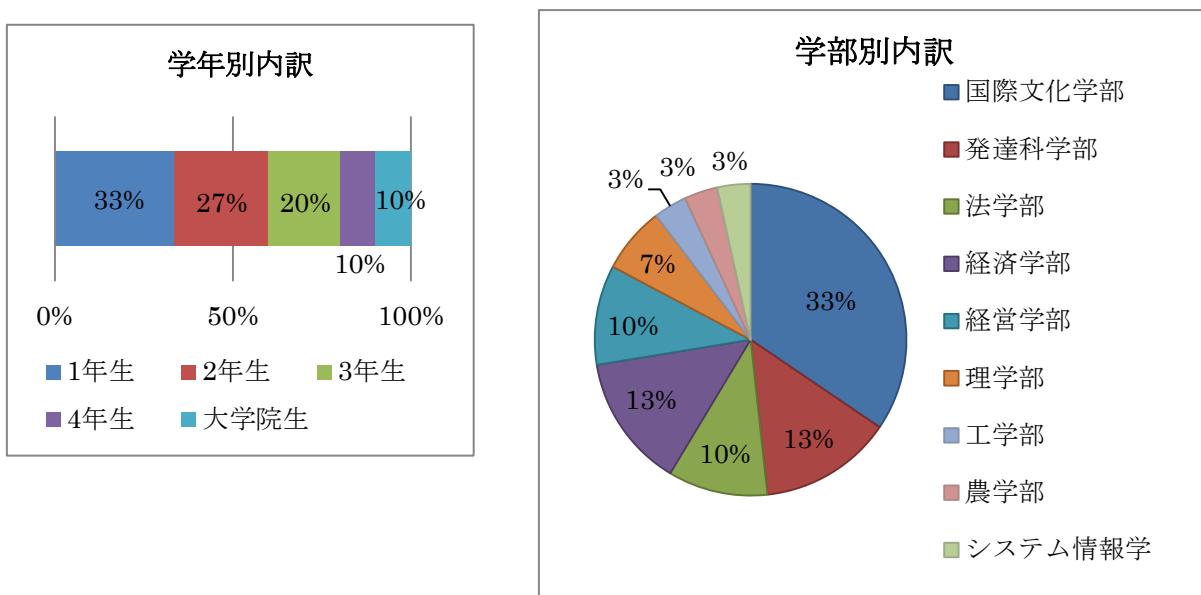
学 部	受講 者数	学 年				
		1年	2年	3年	4年	大学院
国際文化学部	11	5	2		2	2
発達科学部	4		3	1		
法学部	3			3		
経済学部	4	4				
経営学部	3	1	1		1	
理学部	2		2			
工学部	1			1		
農学部	1			1		
システム情報学研究科	1					1
小計	30	10	8	6	3	3

注：空欄は受講者が0であったことを示す。

短期集中春季英語セミナーは、グローバル英語コース（GEC）の学生を主たる対象としたものであるが、この取組は全学的な取り組みへと発展することを目指したものである為、取組学部（文、国際文化、発達科、法、経済、経営学部）の学生の受講を優先した上で、定員の範囲内で取組学部以外の学生の受講も認めた。今セミナーでの応募者比率は、取組学部8割に対し取組学部以外が2割であった。取組学部の中では国際文化学部からの参加が最も多く、全体の33%であった。

学年別では2014年度夏季セミナーと同様に、1年生が最も多く、全体の約33%、次に2年生で27%、次いで3年生の応募が全体の約20%であった。2014年度夏季セミナーでは、2年生の参加数は全体の7%、3年生の参加数は約2%であったことから、2,3年生の本セミナーに対する関心が高まったことがうかがえる。GEC生は、1期生が5人、2期生が6人で、全体の応募数の3分の1、1,2年生の応募者数の約6割であった。

以下に、応募者の学年別、学部別のグラフを示す。



4. 受講者へのアンケート結果報告

今後のセミナーの改善を図る為の参考にする為、各セミナー終了後、セミナーに対する感想や意見を記入してもらうアンケートを実施した。

アンケート集計結果（回答件数：10 件）

Q1: 少人数制のセミナーを受講して、セミナーの前よりも、英語（留学）に対する学習意欲がわきましたか？		
はい、やる気がありました。	8 件	80%
少しあはやる気が出ました。	2 件	20%
あまり変わりませんでした。	0 件	0%

	TOEFL®		Writing		Speaking		Total	
少人数であった点	1	100%	4	80%	4	100%	9	90%
授業がすべて英語だった点			4	80%	4	100%	4	91%
他受講者と意見交換ができた点					2	50%	2	27%
論理的な文章の書き方が具体的に理解できた点			2	40%	1	25%	3	27%
英語を話す機会が多かった点					3	75%	3	48%
英語を聞く機会が多かった点	1	100%			2	50%	3	64%

Q: セミナーで物足りなかつたと思う点があれば、具体的に教えてください

TOEFL®	<ul style="list-style-type: none">自分から発信する機会、ディスカッション
Writing	<ul style="list-style-type: none">課題に対するフィードバックをもっと早くもらいたい授業内容をあらかじめ教えてもらいたい自分自身の語彙力がないことを実感した
Speaking	<ul style="list-style-type: none">1人か2人のクラスが最適だった。（話す機会が多く持てるから）ネイティブの先生

Q: 「こんなセミナーがあったらいいなあ」と思うセミナーがあれば教えてください

- 2,3人の参加者で、フィードバックがもらえるライティングセミナー
- リフレイジングの実例を学べるセミナー
- リスニング、リーディングと比べてライティングは独学が難しいので、又、ライティングセミナーがあれば参加したいです。
- クラシックな文学作品を深く勉強するセミナー
- SpeakingとWritingが両方学べるセミナー（表現方法の違いを学ぶ為）
- (会話で) 良く使われる表現を学べるセミナー
- もっと Speaking seminar